

授業科目

精神保健福祉援助実習指導I

担当教員名 原口 彩子	対象学年	3	対象学科	社会（精神保健福祉コース必修）
	開講時期	後期	必修・選択	選択
	単位数	1	時間数	30

ディプロマポリシーとの関連性

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	◎	◎	◎	○

授業の概要

「精神保健福祉援助実習指導1」では、4年次に行う「精神保健福祉援助実習指導2・3」の事前学習と位置づけられ、利用者理解を含む精神保健福祉の現状や、実習を行う機関についての理解を深めながら、実習に向けた準備を整えていく。

授業の目的

- 1.精神保健福祉援助実習の意義について理解する。
- 2.精神障害者のおかれている現状を理解し、その生活の実態や生活上の困難について理解する。
- 3.精神保健福祉援助実習に係る個別指導及び集団指導を通して、精神保健福祉援助に係る知識と技術について具体的かつ実際に理解し実践的な技術等を体得する。
- 4.精神保健福祉士として求められる資質、技能、倫理、自己に求められる課題把握等、総合的に対応できる能力を身につける。
- 5.具体的な体験や援助活動を、専門的知識及び技術として概念化し理論化し体系立てていくことができる能力を身につける。

学習目標

- 1.精神科病院における見学実習を通して、精神科病院の役割や精神保健福祉士の業務について説明することができる。
- 2.精神保健福祉援助実習と精神保健福祉援助実習指導における個別指導及び集団指導の意義について述べるができる。
- 3.精神保健医療福祉の現状（利用者理解を含む）について説明することができる。
- 4.実際に実習を行う機関の概要について述べるができる。
- 5.「実習記録ノート」への記録内容及び記録方法について説明することができる。
- 6.実習生、実習担当教員、実習先の実習指導者との協議を踏まえた実習計画を立てることができる。

授業計画

回数	授業計画・学習の主題	学習方法・学習課題・備考	担当教員
1	オリエンテーション	全体指導	原口 彩子
2-4	精神保健福祉の現状（利用者理解を含む）についての基本的理解	全体指導	原口 彩子
5	「実習記録ノート」の記録についての理解	全体指導	原口 彩子
6,7	個人票の作成	全体指導	原口 彩子
8-10	実習を行う機関についての基本的理解	全体指導	原口 彩子
11,12	実習計画案の作成	全体指導	原口 彩子
13	まとめ	全体指導	原口 彩子
	※別途夏季に見学実習（2コマ分）を行う。		

使用図書

使用図書	書名	著者名	発行所	発行年	価格	その他
教科書						
参考書						
その他の資料						

評価方法

「ワークシート」「個人票」「実習目標と課題」以上の成果物により評価する。

履修上の留意点

この授業は、原則として精神保健福祉士の資格取得を目指す学生を対象とする。

オフィスアワー・連絡先

原口彩子
 前期：火曜 15時以降
 後期：火曜 15時以降
 E311（研究棟）
 haraguchi@nuhw.ac.jp